

神田新校舎に Open こだわりの詰まった 本格カフェ SENDAI-Kaffee



→ウッドテイストのゆったりとした店内



↑コーヒーとレアチーズケーキ。器は専大卒の陶芸家藤本左近さん作



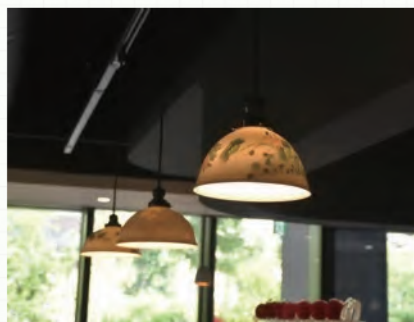
↑靖国通りから緑の小道を抜けた先に SENDAI-Kaffee



↑一杯ずつ丁寧に淹れるコーヒー。中煎り、深煎りから選べる



↑水出しコーヒーとクロワッサンペコンボとクロワッサンハムチーズサンド



↑オールドノリタケのランプシェード



↑取材に答えてくれた店員の藤原理子さん

コーヒー好きの方に、ぜひ飲んでもらいたい。そんな本格派カフェが、神田キャンパスの新校舎10号館の1階に7月17日（金）にオープンした。その名も SENDAI-Kaffee。

あれっ、カフェのスペルは先頭がCでは？と思われた方もいるかもしれないが、これはドイツ語の「コーヒー」。ドイツ留学経験のある日高義博理事長のアイデアでこのように命名されたのだとか。そもそも日高理事長は神田6号館近くの本店のコーヒーがお気に入りによく通っていたそう。

自家焙煎した豆を、注文が入ってから一杯ずつハンドドリップで抽出する本格コーヒーを350円というリーズナブルな価格で提供。落ち着いた店の雰囲気にとりまの益子焼の器は専大出身の陶芸作家藤本左近さん（H14経営卒）の作だ。

こだわりのミルクと豆を使ったカフェラテ、じっくり時間をかけて抽出した水出しコーヒー（夏季限定）もおすすめ。コーヒーにぴったりのクロワッサンサンドも併せて楽しみたい。

店内にはジャズマニアのマスターが選んだ音楽が流れる。音響は60年代のアメリカの映画館で使われていたものと同型のスピーカー ALTEC A8。そのほか、カウンターを照らすランプのシェードはオールドノリタケの陶磁器など、随所にこだわりがちりばめられる。

「コーヒーと共に文化を提供したい」というマスターの想いもあって、本店では写真展やブック展なども開催され、専大生も発表の場として利用してきた。今後、こちらの店舗でも様々な企画を開催することを考えているそう。